
「気管支鏡検査における肺がんコンパクトパネルの有用性に関する検討」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター倫理審査委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年1月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科で気管支鏡検査を受けて頂いた患者さんが対象です。

2. 研究の目的

2024年1月現在、肺がんについては治療方針決定のために複数の遺伝子検査が承認されています。本研究はそれらのうち2022年11月に新たに承認された肺がんコンパクトパネル Dx マルチコンパニオン診断システムの有用性を検討することが目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者情報：年齢、性別、合併症、既往歴、病期分類、病変の部位、病変の大きさ など

気管支鏡検査の内容：検査日時、術者、内視鏡機器、検査時間、追加検査（ガイドシース気管支腔内超音波、断層法 EBUS-GS、超音波気管支鏡ガイド下針生検 EBUS-TBNA、迅速細胞診 ROSE）など

診断に関する項目：検体の固定時間・保存方法、病理学的組織診断、病理学的細胞診断、免疫生化学的診断、遺伝子異常、PD-L1 検査 など

治療：治療内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者で

ある山口 央が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

気管支鏡検査を行った患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 山口 央（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 山口 央（研究責任者）

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 山口 央

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：気管支鏡検査における肺がんコンパクトパネルの有用性に関する検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 山口 央